立春です。春の息吹を感じる時期です。梅の花も咲き始めます。

令和3年2月3日（水）　篠原校長

今日は、立春（りっしゅん）です。二十四節気において春の始まりとされる日です。昨日の「節分」の翌日となります。「春」から始まる「二十四節気」で一周する一年として考えると、昨日の「節分」が一年の終わりの「おおみそか」にあたるので、豆まきなどをして、次の新年に備えるという考え方もされてきました。春の息吹が感じられる時期となります。心機一転で、また頑張っていきましょう。

立春を過ぎると、梅の開花の便りが聞かれるようになります。小学部・中学部の修学旅行で訪れた太宰府天満宮には、御神木「飛梅（とびうめ）」が植えてあります。

「東風吹かば　にほひおこせよ　梅の花　あるじなしとて　春な忘れそ」と、菅原道真公を慕って、京都（平安の都）から一夜にして飛んできたと伝えられる由縁の御神木です。

品種は「色玉垣」（極早の八重咲き）で毎年境内では一番に咲き始めるそうです。この御神木「飛梅」は2月上旬から中旬にかけて見ごろを迎えます。立春のころには、ちらほらと咲き始めているようです。太宰府天満宮の境内には、約200種、約6,000本の白梅・紅梅があり、日本有数の梅の名所となっています。これらの梅は、記念植樹やご奉納によって植えられたものがほとんどだそうです。

満開の時の梅の写真です